

平成27年度 創立者古屋賞・山梨学院スチューデントズ オブ ザ イヤー賞 受賞者一覧

【 創立者古屋賞 】

平成28年3月14日

NO	部門	氏 名	学科	学年	所 属	内 容
1	創立者 古屋賞	タカハシ ユウキ 高橋 侑希	法	4	レスリング部	内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会 フリースタイル55kg級 優勝【平成24年度】 アジアジュニアレスリング選手権大会(カザフスタン) フリースタイル55kg級 2位【平成24年度】 明治乳業杯全日本選抜選手権大会 フリースタイル55kg級 2位【平成25年度】 天皇杯全日本レスリング選手権大会 フリースタイル55kg級 3位【平成25年度】 世界選手権(ウズベキスタン) フリースタイル57kg級 5位【平成26年度】 明治乳業杯全日本選抜レスリング選手権大会 フリースタイル57kg級 優勝【平成26年度】 天皇杯全日本レスリング選手権大会 フリースタイル57kg級 2位【平成26年度】 世界選手権(ラスベガス) フリースタイル57kg級 9位【平成27年度】 明治乳業杯全日本選抜レスリング選手権大会 フリースタイル57kg級 優勝【平成27年度】 内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会 フリースタイル57kg級 優勝【平成27年度】 平成27年度キャプテンとして、東日本リーグ戦3連覇及び全日本大学レスリング選手権大会総合優勝の 団体戦2冠に貢献【平成27年度】
2	創立者 古屋賞	エハラ ナイト 江原 騎士	政治行政	4	水泳部	第6回東アジア大会(中国・天津) 男子200m自由形<1分48秒85> 優勝【平成25年度】 第91回日本学生選手権水泳競技大会 男子400m自由形<3分49秒23> 優勝【平成27年度】 第70回国民体育大会水泳競技大会 成年男子400m自由形<3分49秒33> 優勝【平成27年度】 第16回世界水泳選手権大会(ロシア・カザン) 男子800mフリーリレー 日本代表【平成27年度】 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季大会山梨県予選 男子19歳以上400m自由形<3分38秒54> 日本短水路新記録【平成27年度】
3	創立者 古屋賞	オムワンバ エノック	現代 ビジネス	4	陸上競技部	関東学生陸上競技対校選手権大会 1500m・10000m 優勝 2冠【平成24年度】 日本学生陸上競技対校選手権大会 5000m・10000m 優勝 2冠【平成24年度】 出雲全日本大学選抜駅伝競走 第6区 区間賞【平成24年度】 全日本大学駅伝対校選手権 第2区 区間賞・区間新記録【平成24年度】 関東学生陸上競技対校選手権大会 1500m・5000m・10000m 優勝 3冠【平成25年度】 関東学生陸上競技対校選手権大会 1500m・5000m 優勝2冠【平成26年度】 日本学生陸上競技対校選手権大会 1500m・5000m 優勝2冠【平成26年度】 関東学生陸上競技対校選手権 1500m<3分35秒69> 日本学生新記録樹立並びに1500m 4連覇【平成27年度】 全日本学生陸上競技対校選手権大会 5000m 3位【平成27年度】
4	創立者 古屋賞	タカハシ ナナ 高橋 菜那	現代 ビジネス	4	スケート部	第86回・第87回日本学生氷上競技選手権 3000m 優勝(大会新記録)、女子チームパシュート 優勝 第26回ユニバーシアード冬季大会 2013年(イタリア・トレンティーノ) 日本代表 女子チームパシュート 2位、5000m 5位、3000m 8位 2014年アジアスピードスケート選手権大会(苫小牧) 日本代表 5000m 3位、3000m 5位 2016ジャパンカップスピード選手権(富士吉田) 女子1500m・3000m 優勝 2017世界スピードスケート大学選手権(イタリア・ピネ 2017年3月) 日本代表 スケート部女子主将として、個人の能力だけではなく、チームをまとめ、部員からの信頼も厚く、本学スケ- ト部の模範となる人物である。競技活動と勉学の両立を立派に成し遂げ、スケート選手として国内外におい て大活躍し、今年度も世界スピードスケート大学選手権日本代表に選考された。また、日本スケート連盟優 秀選手賞、山梨スポーツ賞を受賞し、卒業後は社会人として競技を続け、次期オリンピックを目指すなど、今 後の更なる飛躍が期待される。

【 スチューデントズ オブ ザ イヤー賞 ・ 大学院 】

NO	部門	氏 名	学科	学年	所 属	内 容
1	学術 (修士論文)	ゲン ティ ヴィン トウ	社会科学 研究科	2	入江省熙ゼミ	修士論文「日系コンビニエンスストアの国際フランチャイズ展開に関する研究 ～アセアン(タイ及びインドネシア)におけるセブンイレブンの展開を中心に～」 アメリカ生まれのセブンイレブンは、母国では実を結ぶことができず失敗する。しかし、日本では見事に経 営を成功している。いまや、諸外国へ進出する展開をしている。そこで、本論文では、研究の目的を以下の 要素を解明するところにおいた。 1. なぜ日系コンビニは、アセアンに進出したのか。 2. アセアンの中でも特に、タイ、インドネシアにおいて、セブンイレブンはどのように進出しているのか。 3. セブンイレブンは、どのような戦略でタイ、インドネシアに進出したのか。 以上のような目的を達成するために、研究の範囲はマレーシア、フィリピン、ベトナム、ブルネイ、ミャン マー、ラオス、カンボジアまで及んだ。アセアンの中でも、現に日系コンビニエンスストアが進出していないシ ンガポール等を除き、研究を仕上げている。文献調査をベースに展開された論文では、各種統計資料や研 究論文等広範囲に渡りために調べられており、修士論文として申し分のないものであると判断される。 著者の母国であるベトナムには、まだ、セブンイレブンは進出していない現状にあるため、本研究は、ベト ナムにフランチャイズ展開される時期においては、先行研究的な役割をも担えるものであると推察できる。今 後、継続的に研究されることが期待できる。 また、本学生はベトナムからの留学生で、勤勉・誠実であることはもちろん、学業面においても他の模範と なる勉学姿勢と優秀な結果を残している。特に、修士論文においては、過去にないユニークな視点からの成 果をあげている。

NO	部門	氏 名	学科	学年	所 属	内 容
2	学術 (修士論文)	フタナベ 渡邊 コウジ 光司	社会科学 研究科	2	太郎良留美ゼミ	修士論文「所得税法施行令9条における『人為による異常な災害』の法解釈～アスベスト判決を素材とした雑損控除の意義～」 本論文は、個人が災害等を受けた際適用される雑損控除制度が、アスベスト除去費用等の適用となるかの追及を行ったものである。論文の構成として、まず筆者は、雑損控除制度の位置づけや理論的意義を確認し、その具体的な適用範囲について整理している。そのうえで、アスベスト除去費用等が雑損控除の適用となるか否かが争われた裁判例を個別に検討する、という構成を採っているが、その研究内容や論証過程も丁寧に行われている。 さらに筆者は、雑損控除に関する過去の裁判例を抽出し、それら事案の分類、また、それら裁判例に共通する判断基準を見出しつつ、アスベスト除去費用等の雑損控除適用性を判断するといった、オリジナリティーある分析も試みられている。 また、本学生は、修士論文の作成にあたり、いち早く研究の準備に取り掛かり、研究に情熱を注いできた。その取り組み姿勢は、他の大学院生を抜きんでものものであり、日ごろの研究姿勢も評価できる。

【 スチューデントズ オブ ザ イヤー 賞 ・ 大学 】

NO	部門	氏 名	学科	学年	所 属	内 容
1	学術 (卒業論文)	シミズ 清水 カツヤ 克也	法	4	實川和子ゼミ	卒業論文「難民問題及び難民の認定問題について」 本学生は、国際私法の学習過程において重国籍者や無国籍者、そして難民などの当事者の本国法の決定という問題に深く関心を抱いたことを契機に、難民問題をテーマに、3年次のゼミ論、そして卒業論文を執筆した。本卒業論文では、日本の難民認定の認定基準及び難民の認定手続について、基準の緩和と迅速化を行うべきか否かの点を考察している。 内容は、難民に関する条約やわが国内法である出入国管理及び難民認定法に基づく手続等について丁寧に説明した上で、近時のシリア難民問題など広く世界にも視野を広げ、難民の受入れという問題を解決するために、わが国がとっている対策等を批判的に考察し、改善点を提示するという実践的なものとなっている。 もちろん理論的な考察であって、政治的視野からの考察が十分になされているとはいえない部分もあるが、大学生なりに難民問題という難しい問題に対する解決策を模索した論文であることに変わりなく、当該論文を法学科の優秀卒業論文として推薦する。
2	学術 (卒業論文)	タワラ 俵 アヤカ 綾花	政治行政	4	外川伸一ゼミ	卒業論文「公立図書館と指定管理者制度（図書館の使命と諸課題）」 佐賀県武雄市で、民間業者のTSUTAYAを公立図書館の指定管理者にして運営させたところ、選書の仕方などに支障が出たということで、世論を賑わした事件があった。筆者はこの公立図書館の運営に民間業者のノウハウを導入するという手法、指定管理者制度について研究した。 財政難の自治体では、近年スポーツ施設や公園などの「公の施設」の運営に、民間業者の知恵を導入することが流行っている。しかしながら、「公の施設」の管理運営には、効率性や娯楽性だけではなく、公共性の視点も重要な要素である。ここに判断が難しくなるところであるが、筆者はこの問題に卒業論文で挑戦した。 武雄図書館に実際に行って調査するとともに良かったのであるが、多くの文献やネットのホームページを使って、詳細な検討を行った。公立図書館の使命を、従来の「貸本屋」ではなく、「個人の自立の支援」と「民主主義の砦」と定めたうえで、武雄市の公立図書館やニューヨーク市立図書館などのケースを分析している。その手法は、比較的短い論究でありながら、手堅く問題点を捉えており、評価できる。その上で、公立図書館の今後のあるべき姿や改善点を提示しており、卒業論文としてあるべき「モデル」として推薦できる。
3	学術 (卒業論文)	オダ 小田原 ハラ 飛鳥 アスカ	現代 ビジネス	4	林 有珍ゼミ	卒業論文「パートタイマー労働者への人材マネジメント～山梨県の2社の事例から～」 パートタイマー労働者へのマネジメントの作用が個人属性によって異なることを、県内企業に勤務するパートタイマーを対象とした調査に基づき実証した研究である。人的資源管理の分野において多面的な研究が進められているテーマについて、学術的・実務的に有意義な問題を切り出し、持てる研究資源を充分に活用して調査設計を行い、緻密な統計的手順により検証している点は他の範となるものであり、現代ビジネス学部之最優秀論文に値する。
4	学術 (卒業論文)	タケヤ 竹谷 ユウキ 祐貴	経営情報	4	伊藤栄一郎ゼミ	卒業論文「初等教育段階における、ロボットとプログラミングに関する意識の現状」 iRobot社のロボット掃除機Roombaの成功やソフトバンクによるPepperの発表など、ロボットが身近な生活に入り込んできたことと最近のプログラミング教育の普及・促進の流れを結びつけて、小学生がどのような意識でこれらの技術について向き合っているかを調査した意欲的な論文である。 出身小学校の生徒と保護者たちにアンケートを行って詳細に分析した上で、今後の方向性を示したことは称えるべきである。当該論文は、卒業論文として極めて水準の高いものであり、本賞受賞にふさわしい優れた論文である。
5	学術	ヨシハラ 吉原 サ 沙奈恵 ナエ	管理栄養	4		本学生は、管理栄養士として知識・技術の向上を図るとともに、本学部で取得した栄養教諭免許を実践の場で生かすことを目指して、長野県教員採用試験に挑戦し、見事合格を果たした。加えて、長野県職員採用試験にも合格したが、卒業後は栄養教諭の道を歩むことを選択している。 上記の結果はまれに見る快挙で、高い学力と明確な目的意識を備えていることを示すものとして評価される。成績が優秀であることは、エクセレント奨学生として3～4次の2年間連続して認定を受けたことから明らかである。4年次のエクセレント奨学生では、学内で唯一A種に認定された。このように日頃より地道に研鑽を積む姿は、他の学生にも良い影響を及ぼし、学習面での牽引役となった。 資格については、食品表示検定中級、HACCP管理者資格などを取得している。研究面では、山梨県産の果実並びに野菜等を用い、「骨代謝調節作用を有する在来農産物の探索」について、教員の指導の下に実験を行い、2015年度日本食品保蔵科学会大会(2015年6月29日・東京)において共同研究者として発表に参加した。本研究は、地域食料資源の有効活用による健康増進に寄与するものであり、大変優れた内容である。また、学業面のみならず、謙虚で誠実な性格は教員や周囲の学生から厚い信頼を得ている。

NO	部門	氏 名	学科	学年	所 属	内 容
6	学術	ヨシザワ 吉澤 アンリ 安里	法	3		本推薦は、法学科における「法律論文コンテスト」において、法学科最優秀の論文とされた「国際法から考える難民の保護について」に係るものである。当該コンテストは、公法分野（憲法、行政法、刑事法、国際法等）に関心のある学生に対して論文の執筆を促進するもので、延いては学生の学習意欲への刺戟となりうる。 当該論文は、関連する難民条約や国内法規定における難民の地位および問題点を丹念にたどり、難民条約の限界を指摘する。すなわち、難民条約は締結国の国内政策と密接に関連し、当該政策いかんによっては空文化するという指摘がなされている。これは、国際法と国内法との関係に関する精確な知識があればこそであって、執筆者の学力の高さを窺わせる。 加之、わが国における条約の国内的適用に関しても日本国憲法との関連で言及し、かつ条約の国内への直接適用性に関する議論をも展開するなど、さらなる国際法の理解の深さを示唆させる。 他方で、細かな点で例えば使用する文献の新鮮度や用語法について、またわが国の具体的な国内判例に言及がない、さらには筆者自身の立場が必ずしも明確でないなど、問題点がないわけではない。しかし依然として国際法を履修中の3年生の段階でかような内容と水準を維持する文章を執筆すること自体、本賞にふさわしいものと思料する。
7	文化芸術	カロリーナ クリスティナ ステチェンスカ	経営情報	4	囲碁・将棋部	2015年度日本将棋連盟研修会C2昇格し、プロ資格女流3級を取得した。また、第5期女流王座戦ではアマチュア予選東日本大会を5連勝で通過し、1次予選では相川春香と伊奈川愛菓の女流棋士を降して2次予選に進出した。 また、日本の家元制度の流れを受けた過去400年で、外国人職業棋士は初めてである。さらに、「日本文化のポーランドへの紹介」や「ポーランドを日本に知ってもらう事」も含めて、ポーランドと日本の友好に貢献している。甲府市からは「甲府大使」に就任要請もあった。（2016年2月就任予定） これらの内容は、NHKワイドニュース、フジテレビ、テレビ朝日、山梨放送、テレビ山梨などテレビで紹介された。大学の国際化に対する貢献、本学の知名度の向上に大きく寄与していることから本賞に推薦する。
8	スポーツ	オトグロ 乙黒 ケイスケ 圭祐	法	1	レスリング部	全日本学生選手権（インカレ） フリースタイル61kg級 2位 東日本学生レスリング春季新人選手権 フリースタイル61kg級 優勝 天皇杯全日本レスリング選手権大会 フリースタイル61kg級 優勝
9	スポーツ	イワシタ 岩下 ヒジリ 聖	法	3	スケート部	全日本学生ST選手権 大学対抗総合準優勝に貢献、リレー種目 優勝、1500m 2位 第39回全日本選抜ST選手権 500m 優勝 第71回国民体育大会冬季大会ST競技会 500m 準優勝、1000m 準優勝 部副主将及びショートトラック部門主将としてチームをまとめる
10	スポーツ	オマーレ ドミニク ニヤイロ	現代 ビジネス	1	陸上競技部	出雲全日本大学選抜駅伝競走 第6区 区間賞【平成27年度】 全日本大学駅伝対校選手権 第8区 区間賞【平成27年度】
11	スポーツ	ヤマサキ 山崎 コウジ 晃嗣	法	2	ホッケー部	第64回 男子全日本学生ホッケー選手権大会 優勝に貢献（最優秀選手賞受賞） 21歳以下日本代表としてアジアカップに出場 4位 シニア日本代表候補選手として活躍
12	スポーツ	イイダ 飯田 ケンゴ 健伍	経営情報	4	柔道部	全日本学生柔道体重別選手権大会 100kg級 3位【平成27年度】 全日本学生柔道優勝大会 ベスト8に貢献 主将としてチームをまとめる
13	スポーツ	ヤマザキ 山崎 タミ 珠美	現代 ビジネス	4	柔道部	講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 48kg級 準優勝【平成27年度】 全日本学生柔道体重別団体優勝大会 準優勝に貢献 副主将としてチームをまとめる
14	スポーツ	タカバ 竹迫 マスミ 麻澄	経営情報	4	水泳部	第91回 日本学生選手権水泳競技大会 女子100m背泳ぎ<1分00秒68> 優勝 第70回 国民体育大会水泳競技大会 成年女子100m背泳ぎ<1分00秒94> 2位 第91回 日本選手権水泳競技大会 女子50m背泳ぎ 7位、100m背泳ぎ 4位 FIFAスイミングワールドカップ2015東京大会 女子50m背泳ぎ 7位、100m背泳ぎ 6位
15	スポーツ	クジメ 久次米 ナツミ 夏海	経営情報	4	テニス部	第59回 全日本学生テニス選手権大会 女子シングルス 準優勝【平成27年度】 関東学生テニスリーグ戦 3位 主力選手として貢献 2015西多摩国際テニス大会 女子シングルス 3位【平成27年度】
16	スポーツ	カラサワ 柄澤 アイ 愛	現代 ビジネス	4	空手道部	第59回 全日本学生空手道選手権大会 女子個人形 5位 第59回 全日本大学空手道選手権大会 女子団体形 3位 女子主将及び中心メンバーとして活躍
17	スポーツ	ナラ 奈良 ユキ 友貴	法	2	ライフル射撃	第11回 日本学生選抜ライフル射撃選手権大会 10mエアライフル立射40発競技 優勝 第28回 全日本女子学生選抜ライフル射撃選手権大会 10mエアライフル立射40発競技 7位

【 スチューデントズ オブ ザ イヤー 賞 ・ 短期大学 】

NO	部門	氏 名(団体名)	学科	学年	所 属	内 容
1	学術	ハネダ セイコ 羽根田 聖子	食物栄養 栄養士 コース	2	萱嶋泰成ゼミ	本学生は、栄養士の資格取得希望者が受験する「栄養士実力認定試験」、ならびに栄養士としての職務に関連した資格である「食品表示検定 初級」の両試験において、優秀な成績をあげた。 「栄養士実力認定試験」は、栄養士としての知識をどれだけ習得しているかを問う試験であり、公衆衛生学、社会福祉概論、解剖・生理学、生化学、食品学総論、食品学各論、食品衛生学、栄養学総論、栄養学各論、臨床栄養学概論、栄養指導論、公衆栄養学概論、調理学、給食管理論、といった専門分野が広範囲に出題される。成績によってA・B・Cの判定がなされ、栄養士としての就職時には、この判定結果が知識取得度合いの一指標ともされている。2015年12月13日に実施された「栄養士実力認定試験」は、80点満点の試験で全国平均43.2点、という試験であったが、この試験において本学生は70点という高得点を獲得した。これは、全国の受験者10,349人中76位、全国の短期大学に所属する受験者4,514人中12位という好成績である。 また、一般社団法人食品表示検定協会が施行している「食品表示検定 初級」について、2015年11月22日に実施された「第12回 食品表示検定初級」の試験において、本学生は88点を獲得した。この試験は全国で2,579人が受験し、100点満点で全国平均は75.8点、70点以上が合格で合格者は1,818人（合格率70.5%）の試験であったが、本学生の88点は、合格点の70点を大幅に超えており、本資格試験において上位で合格したと予想される。いずれの試験においても本短期大学で開講している講義や実習を集中して取り組まなければ、このような好成績は獲得困難である。本学生は、普段の勉学において予習と復習を欠かさずに取り組み、さらに各分野の教員に何度も質問に来るなど、積極的に勉学に取り組んだ姿が印象的であった。 また、萱嶋ゼミで「ショウジョウバエによる食品の機能性探索システムの構築」というテーマで卒業研究を行った。本学に新規な実験動物による解析系を取り入れるという挑戦的課題であったが、主体的、積極的に研究に取り組み、研究が大きく進展した。将来は栄養士として仕事を続けながら管理栄養士の資格取得を目指す。
2	資格	フタナベ リュウジ 渡邊 龍司	食物栄養 栄養士 コース	2	依田萬代ゼミ	本学生は、栄養関連で比較的取得難易度の高い「NR・サプリメントアドバイザー」資格に合格した。 「NR・サプリメントアドバイザー」とは、昨今様々な情報が氾濫する食やサプリメント等について、個人個人の栄養状態を評価しつつ、適切にアドバイスできる専門者を養成することを目的とした資格である。そのため、資格の受験者は医師や薬剤師、管理栄養士、またはドラッグストア等に勤務する登録販売者といった社会人が中心であり、短期大学生の受験者は非常に少ない。学習内容には、栄養士養成校では十分に学習しない薬理学等も含まれるため、学生の内に合格するのは特に難しい資格の一つといえる。合格率は全体で50%前後、学生に限ると30～40%となっている。 本学生は、普段の勉学の合間に、通信講座による学習を重ね、さらに各分野の教員に何度も質問に来るなど、積極的に勉学に取り組んだ姿が印象的であった。 また、本学生は、依田ゼミにおける卒業演習の一環として、産官学連携事業にも積極的に取り組み、「クレールの美味しいレシピ集」「ヤーコン・キアヌ・まこもパウダーの美味しいレシピ集」の編纂作業において、学生らをまとめる中心的役割を担った。さらに、個人研鑽として、NSCAパーソナルトレーナー資格取得を目指した学習をスタートさせてさせている。 将来はサンワフーズ株式会社において栄養士として働きながら、「NR・サプリメントアドバイザー」等の資格を活かしてスポーツ栄養士としての活動も考えている。
3	社会活動	子育て支援 活動推進 グループ	保育	2	山内淳子ゼミ	子育て支援活動推進グループ(山内淳子ゼミ)の7名の学生は、FM甲府にて約20年にわたり900回以上続けられているラジオ子育て相談番組「楽しい子育て」(回答者は、山梨学院大学附属幼稚園前園長・現教育顧問、および、同園現主任の2名)の相談・回答内容のうち、100回分の書き起こしを卒業研究の一環として行った。これは、かつてのゼミの先輩達の活動を引き継いで行われたものでもある。 書き起こされた内容は、Q & A形式に要約されたうえで、今後、山梨学院大学附属幼稚園のWebsite「子育て支援」ページで順次公開されていくことになっている。また、山梨県内で無料配布されている子育て情報誌「Linkids」の子育て相談ページにも掲載されていくことになる。 子育てに不安を抱える保護者、さらには、そうした保護者を支えていくことに難しさを感じている若い保育者が数多くいる今日、インターネットや子育て情報誌などを通して、広く様々な子育ての悩みに応えていくことはとても重要であり、彼女たちの活動は、保育科学生の社会貢献としてたいへん価値のあるものと思われる。